

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



令和3年11月19日発行

【令和3年度学校経営の重点】

「和顔愛語 笑顔溢れる栄小学校」

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

「あたり前のことが
あたり前にできる 栄っ子」

緊張したけれど、楽しかった！～学習発表会～

11月12日（金） 保護者・地域の皆様のお力添えをいただき、学習発表会を開催することができましたことに心より感謝申し上げます。子どもたちは緊張しつつ、これまでの練習の成果を発揮しようと一生懸命に演奏したり、踊ったり、セリフを述べたりしている姿を見て、胸が熱くなりました。多くの子どもたちから「学習発表会は緊張したけれど、楽しかった！」という感想を聞き、良かったと思っています。特に、6年生は小学校生活最後の学習発表会で見事な演奏と演舞を披露しました。さすがです！



1年生



1年生



2年生



2年生



3年生



3年生



4年生



4年生



5年生



5年生



6年生



6年生

うまく飛んだよ！きれい！～栄っ子ふれあいひろば～

11月8日（月） 「栄っ子ふれあいひろば」（西川千秋代表）が開催されました。子どもたちは、ボランティアの皆様のアドバイスを受けながら、ブーメランを作って「うまく飛んだよ！」「ブーメランが飛んだ後、きちんと自分のところに戻ってくるよ！」など、大喜びでブーメランを飛ばしていました。

次にセロハンテープを重ねて貼ることによって、光り輝く模様ができるキーホルダーを作りました。子どもたちは「見て！すごくきれい！」と言いながら早速ランドセルに付けていました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、このような貴重な機会を提供くださっております西川代表をはじめとする関係の皆様にご心より感謝申し上げます。大変ありがとうございます。



素早い行動がすばらしい！ Jアラート緊急情報伝達試験

11月5日（金） 全国一斉にJアラート緊急情報伝達試験が行われました。全国瞬時警報システム（Jアラート）は、弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報等の対処に時間的余裕のない事態に関する情報を人工衛星及び地上回線を用いて国から送信し、市町村防災行政無線等を自動起動することにより、国から直接住民に対して緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

校内においては、緊急地震速報があったという想定の下、素早く机の下に潜って身の完全を確保するという訓練を行いました。



中学校生活に対してワクワクする気持ちをもってほしい！

11月16日（火） 中学校生活等への期待感を高めることをねらいとして、6年生を対象に校長による講話を実施しました。

講話の中で、①夢を実現するためには、逆算思考で考えることが大切である、②中学校に行くに限られた時間の中で勉強しなければならないので、限られた時間の中で効率的に勉強する方法を試してみるとよい、③努力は報われるので、夢の実現に向けて、あきらめずに取り組み続けてほしい、④今後の生活を送る中で悩んだときには、次の言葉を思い出してほしい。

どんなに悔やんでも過去は変わらない。
どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。
今、現在に最善を尽くすことである。

授業終了後、「校長先生の話はとてもわかりやすかった。今後、どのようにして勉強すればよいのか分かったし、今後の生活の仕方も学ぶことができた。今日の話聞く前は、中学校や高校は嫌だなと思っていたけれど、今は中学校に行くのが楽しくなった。」などの感想が寄せられています。

今後の中学校生活に対して、ワクワクする気持ちをこれまで以上にもってほしいと思っています。

